



絶景に  
ときめく心  
風涼し

常念岳山頂 平成2年7月20日

平成2年7月19日槍沢小屋を早立ち、槍ヶ岳に登り大天井岳の村営小屋に泊まる。7月20日 日の出と共に出発常念岳へ向う。山頂は槍ヶ岳より穂高への大パノラマ、心ときめく。蝶ヶ岳を経て下山し、上高地の村営ホテルに泊まる。7月21日朝食前ライトをつけ、焼岳へ登る。噴煙で登山禁止のため山頂までゆけず、下山後豊平へバスでゆき乗鞍岳へ登る。大町の旅館へ泊り、翌日22日朝一番の列車で大月へ。河口湖駅からバスで富士5合目へ。富士山山頂に立つ。上野より夜行列車で帰宅。(単独行)

○焼岳へは、平成2年7月21日展望台まで、平成4年 6月17日山頂へ(登山禁止解除)

槍ヶ岳 常念岳 焼岳 乗鞍岳 富士山…百名山  
大天井岳…300名山

附  
平成2年7月12日 羅白岳(百名山)  
同 斜里岳(百名山)  
7月13日 雌阿寒岳(百名山)  
7月14日 十勝岳(百名山)  
7月24日 磐梯山(百名山)  
平成2年7月に 百名山10山 三百名山 1山登る



天高く  
無心無心と  
口吟む

平成8年10月15日 鋸岳第一高所にて

平成8年7月アサヨ峰に登頂したおり、仙水小屋の主人に鋸岳のガイド紹介をお願い、七丈小屋番の田部氏が小屋冬期閉鎖後案内してくれるとの事。

10月15日仙水小屋を、田部さんと早立、甲斐駒岳山頂を越え鋸岳の登山がはじまる。田部さんと、ザイルで結び合い垂直かべ、ヤセ尾根と確保していただく。緊張の連続 夢にまでみた第一高所につく。安堵とうれしさで、目がかすむ。下山は角岳衛沢より岩小屋へ、岩小屋でテント泊。満天の星の下でねむりにつく。

夜半、数回落石の音が発破をかけたようなすさまじい音に目をさます。翌日戸台川が増水しており渡るのに難渋した。広河原より季節がおそくバスがなく、ハイヤーをよんで甲府へもどる。

当時は甲斐駒より先は人工物は何もなかった。現在、地図をみると、避難小屋や領場があるので、登山者も多少はあるようだ。



うれしさに  
友と握手を  
夏の峯

平成9年7月13日 カムイクウチャウニ山頂にて

平成9年7月12日帯広空港で山友 藤村さん阪本ご夫妻、今城さん、ガイドをお願いした、日高小屋安井さん、助手の女の方と合流。カムエクス山の登山口よりすぐ渡渉の連続、急登と続く。夕方残雪上にテント泊。7月13日早朝出発、山頂に向かう、熊もころげ落ちるという急登、山頂に着き山友と喜び合う。

山頂直下に福岡大のワンゲルパーティーが熊におそわれた。遺品の水筒、登山靴があり合掌する。



笈や  
ほほを濡らした  
春の雨

平成10年4月24日 笈ヶ岳山頂にて

登山クラブODSS企画で平成9年4月スーパー林道よりアタック。登山道のない山でブッシュが濃く残雪を登る。この年は残雪が少なく、ブッシュのため進めず登頂断念。

平成10年クラブODSS企画で大笠山から稜線を通、笈へのコースに再度挑戦。

平成10年4月24日大笠山山頂雪上のテントを朝立ちアイゼンをつけて進む。笈山頂についた時は小雨。1年待たされただけ登頂に感じまる。

大笠山にピストンで帰る。夕闇せまるころ着。再度テント泊。山友藤村さんと、夜半まで笈への登頂のよろこび、山々の話をして、心やすらかにねむりにつく。三百名山登頂の夢が現実をおびてきたことを実感する。

写真で持っている板は山頂にあったもので登山月日は関係なし